

犬・猫の生態
シリーズ⑥

《必要VS不必要》

フードのローテーションって必要?不必要? ワンちゃんのアレルギー対策

ワンフーご愛用の方は充分ご存知かも知れませんが、
ワンちゃんの変わらぬ健康のため再認識して頂きたい「生態」をお伝えします。

YahooやGoogleで検索してみましょう! フード_ローテーション!!

フードについて意識の高いみなさんは、もちろん「ローテーション」という言葉を一度は耳にしたことがあると思います。ちょっと検索してみると様々なホームページやブログが出てくるでしょう。それらには主に「犬にも人の健康と同じで様々な食材となるべく多く与えた方が良い」「同じブランドだとレシピに偏りが出て、長年食べさせることでアレルゲンが蓄積されるのでリスク回避のために必要」などと書かれていると思います。果たしてこれは正解なのでしょうか?



フードをローテーションすることで、アレルギーの原因であるアレルゲンから回避できるように書かれている情報が多くありますが、安易に受け入れるべきではありません。アレルギーは単一のアレルゲンが原因である場合と、複数の原因が重なっている場合が多いものです。ですから、しっかり検査して獣医師との相談の上判断していくことが大事なのであって、フードのローテーションでアレルギーが防げるほど簡単ではないのです。



でも…ワンちゃんも 飽きちゃうんじゃないの!?

人間の場合、ごはんと味噌汁に飽きたるとスパゲッティやカレーといった嗜好を求めますが、ワンちゃんにはそのような嗜好は本来ありません。むしろ、実際には色々与えすぎてしまうと、フードに飽きやすい子になってしまいます。おやつ癖などと同じような考え方です。



高品質なフードは 同じものを与えるこんなメリットも!!

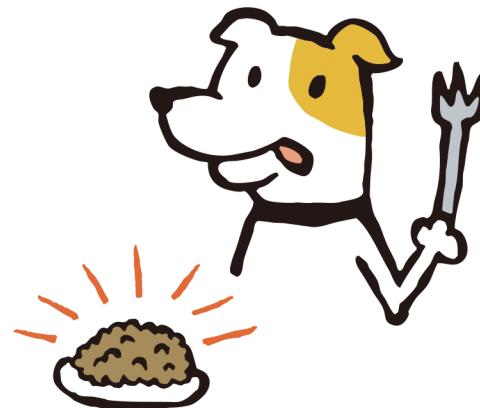
実は栄養バランスやアレルギーの面以外にも、同じドッグフードを固定で与え続けるメリットがあります。それは、体調不良などの異変があったときに原因を特定しやすいという点です。特に、高品質なドッグフードメーカーの中には、出荷したドッグフードのサンプルを1年間残しておき、製品に異常が無いか製造番号から確認しているメーカーもあるからです。



ワンフーもちろんチェックしています!!

だから大切なのは医師との相談と、 高品質なフードを与え続けること!

また、「日頃、おなじフードだと飽きるのでトッピングしています」という方もいらっしゃいますが、食い溜めの遺伝子はあっても、飽きるという習性はないのです。もちろん、夏バテなどの食欲減退時には有効ですが、本来トッピングはあまり必要のないことです。添加物の少ない総合栄養食＆新鮮なお水を継続して与え、運動させることのほうが重要です。ワンちゃんにあったフードであれば継続して与えることがオススメですね。



医食同源
コラム

世界初の臨床・生化学的研究

世界三大珍味として知られているトリュフの入った塩をいただいたので世界最初の試みとなる『トリュフ塩おにぎり投与時における犬の臨床・生化学的研究』を計画した。この実験を行うには恐ろしくお金がかかるので、あらかじめ予備実験として、そもそも犬はトリュフ塩おにぎりを食べるのか、その嗜好性についての実験を行った。

イヌ(雄種、オス、8歳)にドックフード(プレミアムドッグ・ワンフー)とトリュフ塩おにぎり各々25グラムを3回(朝、昼、夕)投与したところ、ドックフードを食するもトリュフ塩おにぎりは食べなかった。次に普通の塩おにぎりとトリュフ塩おにぎりで同様の実験を行ったところ、どちらも食べなかった。

以上の結果よりワンフーのドックフードはトリュフよりも嗜好性が良いことが世界で初めて証明されたと結論

したいところだけれど、うちの狛は米食が嫌いなことが解った。もうひとつ余程の経済的余裕がある場合以外この種の実験は行うべきではない。トリュフの中毒性の有無についてもしかりと解った。

もう秋だ、そのうち秋の味覚秋刀魚にこのトリュフ塩をかけ、味はともかく気分だけでも日仏合作の贅沢な味覚を楽しもうと思っている。



日本動物ストレス学会会長
動物介在教育・療法学会名誉理事長
北里大学名誉教授
樋口誠一